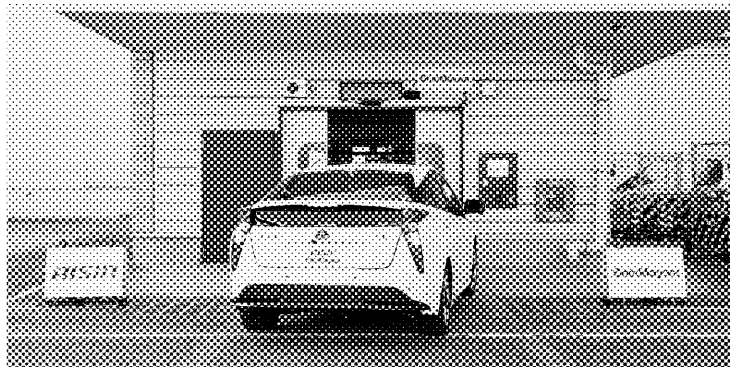


機械式駐車まで自動運転

アイシン・新明和アプリで入出庫

アイシンと新明和工業は25日、大型施設で車両を受け渡しして機械式駐車設備まで往復・入出庫できる自動運転技術を共同開発したと発表した。水準は特定条件下で自動運転する「レベル4」。アイシンの自動走行技術と新明和の車両・駐車設備アプリケーションで可能とした。同設備まで連続する自動化は国内初としている。既にマンション開発会社から引き合いがあり、実用性の高さを強みに将来の普及を目指す。車両と機械式駐車設備に設置した制御装置に専用アプリを搭載した。乗降場で車両アプリにより同設備を目的地に指定すると、同設備のアプリと連携し、自動で入出庫する。新明和の本社（兵庫県塚市）で、同社製のエレベーター方式などの機械式駐車設備により実証実験した。アイシンが自動走行・駐車技術で駐車経路を制御し、段差などから高い精度も必要な機械式駐車設備への入出庫に成功。新明和も自社技術で車を載せるパレットの呼び出しや車両格納、ゲート開閉を自動化し、両社で走行から同設備の操作・入出庫まで連続化した。2023年3月から200回以上実験し、駐車成功率を60〜70%に高め、基礎技術を確認したと判断した。実験ではタレット端末を使ったが、実用



化ではスマートフォン 到来も見据え提案すを想定。自動車の所有する。

エレベーター方式の機械式駐車設備に向かう自動運転車両 ▲

者やカーシェアリング利用客らがマンションなどに鍵を預け、受け取った側が駐車作業を引き受けるサービスを自動化する標準的な技術として、自動運転の